

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年15週 (4月2週 4/6~4/12)

2015年3月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、結核、麻しん  
病原体検出情報  
定点医療機関コメント  
インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、ヒトメタニューモウイルス感染症等

### 全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(30)、レジオネラ症(1)、ウイルス性肝炎(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、梅毒(1)、風しん(1)

2015年3月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆インフルエンザ(図1) 【3月18日警報解除】

すべての保健所(名古屋市は16保健所合計)で警報継続の指標(定点当たり報告数10)を下回ったことから、愛知県は3月18日にインフルエンザ警報を解除しました。

15週の定点当たり報告数は1.61、14週418人→15週313人(0.75倍)です。2014/2015シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3)及びB型(ビクトリア系統、山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】愛知県の「インフルエンザ警報」を解除します(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000081499.html>

2014/15シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbumri14\\_15.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbumri14_15.html)

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

15週の定点当たり報告数は1.55、14週291人→15週283人(0.97倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

### 結核(図3)

2015年15週までの累積報告数は438件(うち無症状病原体報告者は119件)です。

2014年15週までの累積報告数は468件(同108件)、2014年総計は1,866件(同529件)でした。

### 麻しん

2015年は4月15日現在、報告はありません。2014年総報告数は46件でした。

麻しん・風しん予防接種(MR)の定期予防接種の対象者は、第1期:生後12か月以上24か月未満の方、第2期:平成21年4月2日から平成22年4月1日の間に生まれた方です。対象の方は平成28年3月31日までに、早めに予防接種を受けましょう。

【参考ページ】

日本が麻しんの排除状態にあることが認定されました(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000079294.html>

麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl\\_2014.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2014.html)

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

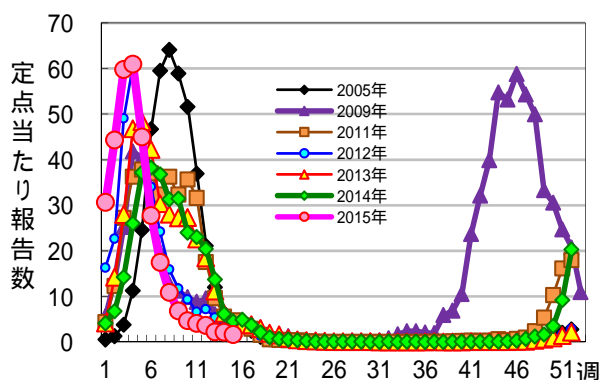


図1 インフルエンザ

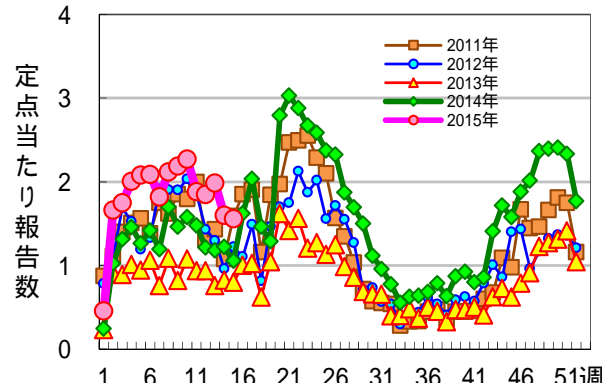


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

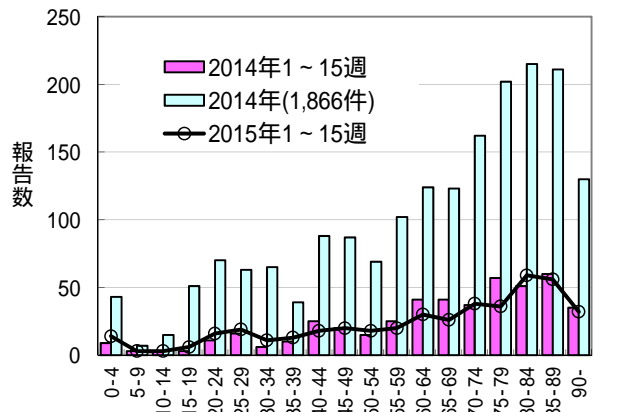


図3 結核の年齢階級別報告数 (愛知県、診断週集計、無症状病原体保有者含む)

病原体検出情報 2014年疾患別ウイルス検出速報 (2015年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	290	58	48	13	32	44	18	195	35(44)
CV-A2	-	-	3	-	-	1	-	-	-
CV-A4	2	2	17	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	3	2	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	2	6	-	-	-	-	-	1(0)
CV-A16	-	34	1	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	1	-	-	-	-	3(0)
CV-B2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	1	-	-	(1)
E-6	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-11	5	1	-	-	-	15	-	-	-
E-25	1	-	-	-	-	-	-	-	1(0)
E-30	-	-	-	-	-	2	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	55	(1)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	56	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	52	1(0)
MuV	-	-	-	-	-	1	-	-	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	10(14)
HPIV-2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	2(0)
Reo-2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	98	-	-	-	-	-	1	-	-
SV	4	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
Ad-2	10	-	-	1	1	-	-	-	-
Ad-3	-	-	1	8	7	-	-	-	(1)
Ad-4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-5	2	2	-	-	-	1	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	14	-	-	-	-	-	1	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陰性	158	14	15	1	21	22	16	32	17(26)

\*インフルエンザは2013/2014シーズンの結果

\*\*麻疹・風疹の( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV-71: エンテロウイルス71型、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB: B型インフルエンザウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、MeV: 麻疹ウイルス、MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス、SV: サボウイルス

病原体検出情報 2015年疾患別ウイルス検出速報 (2015年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	61	5	7	1	7	5	5	173	3(4)
CV-A6	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	2	-	-	-	-	-	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	1	118	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	6	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	11	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-3	1	-	-	-	-	-	-	1	-
Ad-6	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
検査中	35	1	4	-	7	3	1	29	1(3)
陰性	11	2	1	-	-	2	2	19	2(1)

\*インフルエンザは2014/2015シーズンの結果

\*\*麻疹・風疹の( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、  
FluB: B型インフルエンザウイルス、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、  
NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- 感染性腸炎が少し目立ちました。  
ロタ陽性3人あり  
1歳、3歳、4歳 2例が入院  
インフルエンザは全例B型 3人は兄弟例  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- インフルエンザB型 3名 内2名は姉妹  
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルエンザB型 3名  
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】
- インフルエンザありませんでした。  
ヒトメタニューモ 3名  
A群溶連菌4名でした。  
【犬山市 武内医院】
- 溶連菌感染症やや目立ちます。  
伝染性紅斑 4名  
アデノウイルス感染症 2名  
インフルエンザ 2名(A、B各1名)  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- B型インフル 1例  
hMPV 4例  
ヘルパンギーナが出てきました。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 20代男 カンピロバクター腸炎 1人  
【北名古屋市 田中クリニック】
- 4歳男 手足口病  
胃腸かぜが稍多い様です。  
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザB型 2名  
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

### 尾張東部地区

- インフルエンザ 0件  
その他溶連菌感染症散発  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 胃腸炎が多い  
【日進市 みやがわクリニック】
- ロタウイルスが急に増えています。  
インフルエンザ成人B型 2名  
【春日井市 春日井市民病院】
- 溶連菌 8例  
胃腸炎 10例  
A型インフル 2例  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザはA型2例、B型2例です。  
ヘルパンギーナ、手足口病もみられます。  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザは成人で1名、A型でした。  
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザB 5名  
感染性胃腸炎が多いです。  
【半田市 医療法人林医院】
- インフルエンザB 4名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- ロタウイルス 6歳男 2件  
3歳男 5歳女 各1件  
10歳女 カンピロバクター(+)  
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名(9歳)  
ロタウイルス胃腸炎 1名(3歳)  
アデノウイルス感染症 1名(5歳)扁桃炎  
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名  
【東海市 こいで内科医院】

## 西三河地区

- StrepA(+) 4歳女 2名  
アデノ(+) 6歳男  
インフルエンザB型 8歳男 23歳男  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザ陽性B型 1名  
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- ロタウイルス腸炎 4名  
インフルエンザB型 1名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- 9歳女 病原性大腸菌O26(+)/VT(-)  
インフルエンザB 5人  
【岡崎市 にいのみ小児科】
- ヒトメタニューモウイルス 1歳女 2歳女  
アデノ(咽) 6歳女  
りんご病が散発しています。  
インフルエンザは2例でともにAです。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- 感染性腸炎が目立ちます。  
インフルエンザウイルス感染症のB型が散見  
されます。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザ散発(B型が多い)しています。  
【碧南市 永井小児クリニック】
- B型インフルエンザ陽性  
【安城市 医療法人鳥居医院】
- インフルエンザB型 3名  
【西尾市 西尾市民病院】

## 東三河地区

- インフルエンザA型1名、B型6名、計7名  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- 咽頭結膜熱 男50歳 1名  
【豊橋市 富安眼科】
- インフルエンザA型 2名  
インフルエンザB型 1名  
【豊川市 豊川市民病院】
- 病原性大腸菌O25・O18 1歳女  
病原性大腸菌O1 5歳女  
インフルエンザA型 4名 B型 2名  
【豊川市 ささき小児科】
- ヒトメタニューモ6名  
0歳 1名、1歳 3名、2歳 2名  
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年4月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年15週報告数			2015年総計(1～15週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	19	3	5	192	47	52
豊田市	1	1		13	4	2
豊橋市				25	3	14
岡崎市				12	5	
一宮	3	1	2	33	8	9
瀬戸	1		1	36	8	15
半田	1		1	9	2	2
春日井				16	4	1
豊川				10	3	2
津島				22	3	5
西尾	1		1	10	3	2
江南	3		3	17	4	7
新城	1	1		9	2	5
知多				13	3	4
清須				8	4	2
衣浦東部				19	10	2
合計	30	6	13	444	113	124

**四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）**

**レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	65歳	男	肺炎型	国内

**ウイルス性肝炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	予防接種歴	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	0歳	男	その他 (サイトメガロウイルス)	不明	不明	国内

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	瀬戸	62歳	女	手術部位感染	国内	無

**急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	1歳	男	病原体不明	国内

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	81歳	女	国内

**後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	20歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内

**侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	江南	65歳	男	無	国内

**侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	1歳	男	有	国内
2	豊田市	84歳	女	無	国内
3	津島	90歳	女	有	国内
4	衣浦東部	59歳	男	無	国内

**梅毒（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内

**風しん（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	39歳	女	有	国内

## 2015年3月報

(2015年4月14日現在、診断週に基づく集計)

## 3月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲。〕

	2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2015年3月			2015年	2014年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	71 (24)	60 (17)	131 (41)	384 (100)	1,866 (531)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	10 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	4 (0)	1 (1)	5 (1)	6 (1)	132 (30)
	腸チフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	1	1	2	1
	A型肝炎	0	0	0	1	8
	コクシジオイデス症	0	1	1	1	0
	つつが虫病	0	0	0	0	2
	デング熱	0	0	0	5	11
	マラリア	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	1	3	16	61
五類 (22)	アメーバ赤痢	3	3	6	16	68
	ウイルス性肝炎	1	0	1	2	13
	内訳 B型	1	0	1	2	12
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	4	1	5	14	19
	急性脳炎	2	1	3	12	18
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	2	18
	後天性免疫不全症候群	3	0	3	25	98
	内訳 無症候性キャリア	2	0	2	17	65
	内訳 AIDS	1	0	1	7	32
	内訳 その他	0	0	0	1	1
	ジアルジア症	0	2	2	2	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	4	16
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	16	1	17	59	122
	水痘(入院例に限る。)*	1	0	1	4	10
	梅毒	0	3	3	13	113
	内訳 無症候	0	0	0	4	50
	内訳 早期顕症	0	2	2	6	57
	内訳 晩期顕症	0	1	1	3	6
	播種性クリプトコックス症*	0	2	2	4	2
	破傷風	1	0	1	1	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
	風しん	1	0	1	8	21
	麻しん	0	0	0	0	46
	総 計	112	77	189	585	2,680

\* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引き続き小児科定点把握対象疾患です。



五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2015年3月			2015年 累計		2014年 総計	
		愛知県	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
		<名古屋市除く>			合計		合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	34	35	69	197	900	1,591
		女	34	22	56	161	691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	14	23	55	169	643
		女	17	16	33	96	474	
	尖圭コンジローマ	男	7	12	19	48	220	347
		女	6	3	9	27	127	
淋菌感染症	男	21	25	46	124	577	657	
	女	3	0	3	14	80		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		77	13	90	249	1,090	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		11	0	11	38	59	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	4	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0	

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年3月			2015年 累計		2014年 総計	
	愛知県	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
	<名古屋市除く>			合計		合計	
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	0	1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年1月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

\*\* 2014年9月19日に「カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。



